

意見交換（門真市パークイノベーション計画審議会委員からのコメント）

意見交換では、参加者の皆さんからご意見をいただくとともに、門真市パークイノベーション計画審議会の委員の皆さんからもコメントをいただきました。

参加者のみなさんから、「自分たちも汗をかくから、市役所のみなさんにも頑張ってほしい！」というメッセージをいただきました。

みなさんからいただいたアイデアは、道路公園課さんだけで実現できることではなさそうですね。公園をもっと使ってもらえるようにするにはどうしたらよいか、福祉、保育、教育、地域活動、自治推進など、庁内の様々な部局と連携しながら考えていけばよいと思います。また、市民の皆さんと行政の皆さんの協働の取り組みを、今後も継続していただきたいです。



大阪府立大学
加我 宏之 教授

みなさんのご発表の中には、公園を通じてもっとコミュニケーションをとりたい、という思いがたくさんあったように思います。

公園やまちは、自分以外の誰かと出会える、関われる場所なんだ、と改めて思いました。東小の子ども達のように、自分とは違う立場に一度立ってみて、公園やまちなり方について考えるということが、とても素敵で、大事なことだと思いました。お互いに譲り合いながら、声を掛け合いながら、みんなが気持ちよく過ごせるような公園やまちになって欲しいと思います。



和歌山大学
佐久間 康富 准教授

ボール遊びなど多様な遊びの場として、深北緑地や鶴見緑地などの市外の環境も活用していただければと思います。

大阪府枚方土木事務所 都市みどり課長
松本 直己 さん

第1回から数えて、延べ 150 人もの市民の皆様にご参加いただきました。これから、もっと使いやすい門真の公園づくりを進めていくうえで、とても心強いご意見をたくさんいただくことができ、大変嬉しく思っています。本当にありがとうございました！



「弁天池公園であそぼう」もよろしくお祈りします！ / 宮本市長

事務局より

かどまパークミーティングにご参加いただいた皆様、また、パークミーティングニュースをご覧いただいた皆様、本当にありがとうございました！今後は、いただいたご意見を参考に、市民の皆さんが使いやすい公園づくりに向けて、令和4年度中に「門真市パークイノベーション計画」を策定する予定です。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いします！

かどまパークキッズチャレンジ 「弁天池公園であそぼう」を開催します！

と き：3月26日(土) 10時～15時
(雨天時は3月27日(日)に順延)

と ころ：弁天池公園（岸和田1丁目8番）

子ども園長が考えた楽しい遊びがいっぱい！詳しくは門市 HP「かどまパークキッズチャレンジ」のページへ！



担当課
問合せ
申込み

門真市まちづくり部道路公園課整備グループ
電話：06-6902-6603(平日9時～17時30分)
FAX：06-6902-1323
メール：ken05@city.kadoma.osaka.jp

門真市の公園に
関する情報は
こちら



門真市ホームページ
「公園・緑化」

かどま パークミーティングNEWS 第4号



第4回かどまパークミーティング開催！ これまでご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

ついに最終回を迎えたパークミーティング。第2回、第3回に各中学校区で話し合った結果を共有するため、各地域の参加者の皆さんによる発表会を行いました！意見交換も活発に行われ、最後に記念撮影をして、無事終了しました！

門真市内の全公園 166 箇所を対象に、市民のみならず、「公園がどんな場所になったらいい？」「どんなふうに使いたい？」「自分たちにもできることは？」といったことを考える全4回の市民ワークショップです。

◆第4回パークミーティングの流れ◆

発表会

- 各中学校区でのミーティング結果の発表
- 東小学校での取り組みについての発表

意見交換

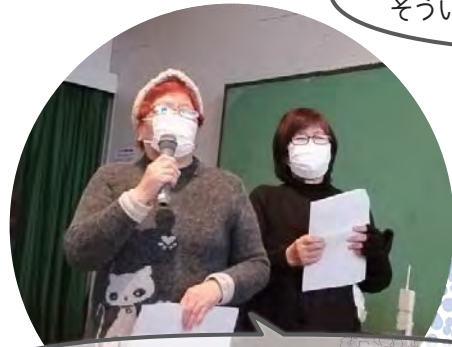
- 専門家※からのコメント
- 参加者からの質疑・応答

市長あいさつ・記念撮影

※門真市パークイノベーション計画審議会委員



各地域で特徴的だったご意見を中心に、発表者の皆さんの体験や想いを交えながらご発表いただきました。各地域で共通のご意見もあり、これからの門真市の公園を考えるにあたり、みんなで大切にしたいことについても共有することができました。



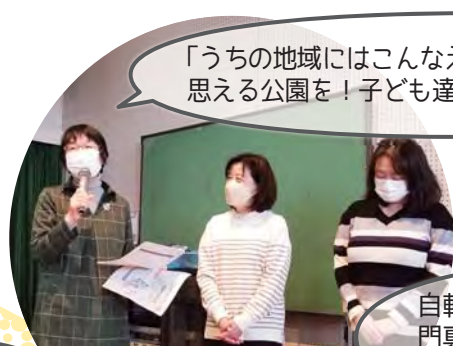
散歩や買い物途中に立ち寄り、休憩しやすい、高齢者や親子連れにやさしい公園を！



公園で子ども達が生きものや自然とふれあう、そういう機会を子ども達に持って欲しい！



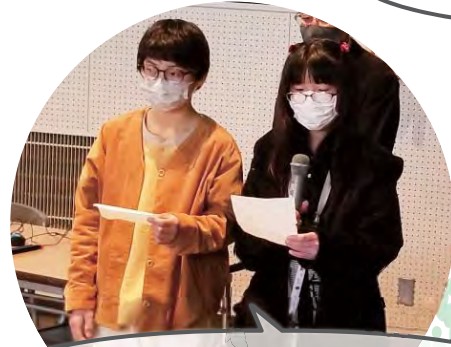
若者達がいろんなことにチャレンジできるしかけや、民間の力も活用して、公園とまちをもっと魅力的に！



「うちの地域にはこんなえとこがあるんやで」と思える公園を！子ども達や住人が誇りを持てる門真に。



自転車さえあればどこまでも行けるという門真の特徴も活かしながら、小さな公園を活用して、いろいろな世代が使いやすい公園に。



ボールの扱いに気を付けるなど、自分たちができることは頑張るから、もっといろんな遊びができるようになったらいいな！

- ・複数の公園を一緒に考える。
- ・ボール遊びができる公園を確保してあげたい。

大・中・小それぞれの公園の規模に応じた使い分けや、使い方の工夫が必要！

- ・使われていない小さな公園は、他の公園利用のための駐輪場にしてもよいのでは。
- ・使われていない小さな公園をまとめて、中くらいの公園に。

- ・小さな公園は幼児向けや憩いの場、中くらいの公園は小学生が思い切り体を動かせるように。

- ・大は中を、中は小の機能を兼ねながら、規模に応じて使い分ける。

新しい遊びや、にぎわいイベントなどを、もっと公園でできるように！

- ・キッチンカーやマルシェ。コーヒー片手に一息つけるような、親世代や若者、大学生も楽しめる公園に。

- ・みんなが集まるきっかけとして、例えば菜園づくりなどのしかけを。

- ・見通しの悪い公園や奥まった場所にある公園は使いにくい。みんなが安心して使えるように！

防災にも役立ち、安全に、安心して使える公園に！

- ・公園の規模に応じた防災機能の充実を！
- ・地域みんなが集まるきっかけが生まれる場所に。

まちも一緒に考えて、みんながもっと楽しめる公園に！

公園がいろいろな人にもっと利用されるためには、地域にたくさんある大小さまざまな公園をまとめて考えたり、まちのことも一緒に考えることが大切だという意見が交わされました！



子どもたちにとって、良い思い出の場所となるように！大人になっても住みたいと思える魅力ある公園づくりを！



使われていない小さな公園を活かして、コミュニケーションをつくり、育むための公園に！

- ・小さな公園は、利用者や利用内容に応じて使いやすく！

子どもから高齢者まで、多世代が一緒に使いやすい公園に！

- ・小学校跡地などのグラウンドを、ボール遊びやスケートボードができる場所に。

- ・障がいをお持ちの方も使いやすい、インクルーシブな公園に。

- ・小中学校の再編統合や団地建替えなどにあわせて子ども達が思い切り遊べる公園を。

- ・自治会館など、施設が併設されている公園は自分たちの公園という意識があり、愛着がある。

- ・散歩がてら、買い物がてら気軽に立ち寄りやすく。暮らしの動線上の公園を大切に。

公園や地域の資源をネットワークでつなぎ、歩きやすいまちに！

- ・ベンチなどを置いて立ち寄りやすい公園を。

- ・点在する小さな公園や地域の資源をつないで、歩いて巡れる『健康あるき道』を。

東小学校5年2組の子どもたちの発表

総合学習で「ボール遊びができる公園」について考えました！

どうして公園でボール遊びができないんだろう？どうやったらできるようになるんだろう？ということについて、地域の人にアンケートをとるなどして考えてきました。赤ちゃんやお年寄りにあたるかもしれない、隣の家に当たってしまうかもしれない、パウンドする音がうるさいなど、いろいろな理由があると考えたので、人の迷惑にならないように、利用のルールを決めたり、フェンスの配置を工夫するなどしてはどうかと考えました。もっといろいろな人に公園に対する意見を聞いて、みんなが使いやすい公園について考えていきたいです！



東小学校5年2組担任 市川先生

「どうしてボール遊びができないんだろう？」という思いよりも、「人に迷惑がかかってしまうかもしれない…」という心配の方が大きい子ども達。どうすればみんなが気持ちよく使える公園になるか、一生懸命考えてくれました！

私たちも一生懸命考えているので、市役所や大人のみなさんも協力してくれたらうれしいです！

